

一般社団法人日中協会

## 事務局だより

編集：事務局だより編集委員会 発行：(一社)日中協会 事務局

## INDEX

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| ・事務局からのご挨拶..... 1      | ・会員紹介・会員の声..... 6   |
| ・中国の今を読み解くキーワード..... 2 | ・中国トレンド情報..... 7・8  |
| ・事務局活動報告..... 3・4・5    | ・3回シリーズ・お宝解説..... 8 |



## 事務局からのご挨拶

人間、歳を重ねるごとに一年が早く感じるものですが、今年はコロナのせいか、ことの外早く感じます。それでも振り返ってみれば、何度かの緊急事態宣言があり、その間を縫ってオリ・パラ 2020 があり、総選挙の前に総理が交代するという出来事もありました。中国では河南、四川、山西省などで大規模豪雨災害が相次ぎました。災害に遭われた方、犠牲となられた方々に心よりお見舞いを申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

私ども日中協会でも大きな出来事がありました。事務局が移転したこと、事務局だよりを発行したこと、役員人事に異動があったことなどです。不肖私も理事長の大命を拝し、早くも6か月が過ぎました。

この間に感じたことは老若男女、何と多くの方々の中

国の行方に関心を寄せ、陰に陽に日中関係の関係改善に尽力しておられることかということでした。中でも、日中協会の会員の皆様の変わらぬご支援、ご協力には心から感謝を申し上げます。

来年は国交正常化 50 周年。我が協会はこの宝の方々としっかりとスクラムを組みながら日中関係を一步も二歩も前に進め、一段と高い段階へと押し上げて行けるよう努めて参る所存です。会員の皆様におかれましてはこの一年、本当にありがとうございました。来年がますます健康で笑顔溢れる一年となりますよう、そして、引き続きのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人日中協会  
理事長 瀬野 清水

## 中国の今を読み解くキーワード

### 「共同富裕」

本年8月、習近平国家主席は、ややゆとりのある生活を送ることのできる小康社会からさらに一歩進んで共同富裕を促進すると述べて世界の注目を集めました。共同富裕とは文字通り、全ての人々が共同で豊かになることですが、中国がこの時期に共同富裕を取り上げることに、なぜ世界が注目するかと言えば、習近平国家主席への権力の集中がかつての毛沢東を想起させ、富裕層から財産を収奪して貧困層に分配した建国直後の革命運動を連想する人が多いからではないでしょうか。共同富裕は1950年代の毛沢東時代からの課題であり、人民公社や大躍進など生産手段の共有化と成果を急ぐ余り、多くの犠牲と失敗を重ねて来たことは周知の通りです。

改革開放後は、鄧小平氏の唱える豊かになれる条件が揃ったところから先に豊かになるという「先富論」が多くの国民に受け入れられました。資本主義からよいところを取り入れて経済を発展させることこそが重要であると呼びかけたのです。その結果、わずか40年の間に世界第2位の経済大国になるまでの発展を遂げました。同時に、所得格差も広がり、格差の度合を表すジニ係数（0に近づくほど所得格差が小さく、1に近づくほど格差が拡大していることを示す）が、中国では0.46台で高止まっています。ジニ係数が0.4を越えると危険水域に入り、社会不安が表面化するといわれる中で、中国が長期にわたって社会の安定を維持できているのは「二つの奇跡」の一つとされているほどです（「二つの奇跡」については日中協会報第7号の加茂具樹論文をご覧ください）。

習近平政権の共同富裕促進を毛沢東時代と結びつけて懸念する人の中には、これが鄧小平氏の先富論からの決別を意味するのではないかと考えている人が多いようです。しかし、改めて鄧小平氏の言葉を読み返してみると、習近平氏の共同富裕の構想と鄧小平氏の敷いた路線との間に些かのぶれもないことに気付きます。例えば次のような鄧小平氏の言葉です。「社会主義とは少数の人が豊かになり、大多数

の人が貧しい状態にあるというようなことではない」「社会主義の特徴は貧困ではなくて、富裕である」「今世紀末にまずまずの水準に達したとき、共同富裕の問題を提起し、解決することが考えられる」「その時になれば、発展地区は引き続き発展し、利潤と税金を多く納め、技術を移転するなどの方式で未発達地区を大いに支持すべきである」など、先富論の先に共同富裕があり、それを提起すべき時期や解決の方途についてまで、平易な言葉で語られています。

中国は、長く農業不安、農村荒廃、農民貧困という「三農問題」に悩まされてきました。習近平氏は、2012年の総書記就任以来2020年までの8年間、農村の貧困層にターゲットを絞った「貧困脱却難関攻略戦」に国を挙げて取り組み、「中華民族を数千年にわたり苦しめてきた絶対的貧困（1日1.9ドル以下で生活している人々）の問題を解決した」と勝利宣言をしました。中国はこの成果に甘んじることなく、間髪を入れず次のターゲットである農村の振興と共同富裕の実現に取り組んでいます。

鄧小平氏が「独自の道を歩み、中国の特色を持つ社会主義を建設する」と語ったときの「独自の道」や「中国の特色を持つ社会主義」というのは、或いは既存の資本主義でも社会主義でもない、第3の社会主義を目指しているように思われます。それは人々の願望に寄り添い、人々の幸福を中心に据えた人間中心主義とも言うべき新しい社会であるように思われます。中国は50年、100年単位で見なければ分からないと言われる所以でもあります。



(イラスト・ちかぞう)

## 事務局活動報告

8月24日



埼玉会館で東京オリンピック特別招待書画展が開催されました。当協会理事の海江田万里衆議院議員が2019年(令和元年)の大嘗祭に参列した際の所感を見事な筆致で漢詩に表現。村山富市元首相の「人を幸せにする人が幸せになる」の揮毫と共に正面に飾られていました。

8月31日



8月31日から日本華人美術家協会主催の「問道扶桑(日本に道を問う)」という絵画展が開かれ(当協会後援)、日本の美術大学で学ぶ新進気鋭の中国人留学生15人の作品が展示されました。日本画の特徴が中国画と融合して、いずれも素晴らしい作品ばかりでした。将来が楽しみです。

9月17日



今年は満州事変勃発から90周年。「918」を1日早めて緊急集会在国会議員会館で開催されました。政治評論家の森田実さんが応援に駆けつけ、京劇俳優の田偉さんが叔父に当たる田漢氏が作詞した「義勇軍行進曲」を熱唱して彩りを添えました。

9月23日



都内のレストランで開かれた上海大学日本校友会の役員会にお招きを受けました。来年が日中国交正常化50周年に当たることから今年12月11日に予祝のzoomコンサートを、来年9月30日に祝賀音楽会を開催する事などが話されました。上海大学は日本で300人を超える同窓生が活躍中とのこと。中国の総合大学としては初の東京校があることでも知られています。

10月4日

中国文化センターで「一脈伝承 黄檗文化展」が開催されました(当協会後援)。1654年、江戸時代の初めに大蔵経や印刷技術、普茶料理などの食文化、建築、土木、美術など、明朝の文化を携えて来日した隠元禅師と禅師に連なる人々によってもたらされた黄檗文化の片鱗が紹介されました。



10月6日

中国駐日本大使館に石永菁公使参事官をお訪ねし、日中間の文化交流について意見交換をしました。



## 10月9日

国会議員会館で「対中国外交の転換を求める緊急合同」と称する会合が開かれ、当協会理事の西原春夫元早稲田大学総長が「2022年2月22日22時22分22秒という2が12個つながる時間に東アジア各国の首脳とともに不戦の宣言を出したいと述べて参加者に深い感銘を与えました。



## 10月15日



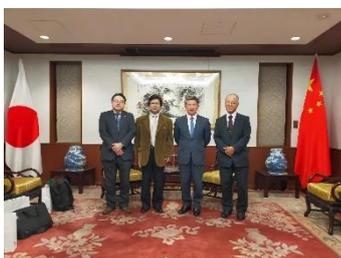
上海大学校友会の許秀萍常務会長一行が当協会に来訪。来年の活動の打合せをしました。

## 10月18日

中国文化センターで第2回東京国際甲骨文芸術祭(当協会後援)が開かれました。日中双方の書道家が、私たちのなじみ深い「論語」の中の言葉を約70点の甲骨文の作品に仕上げて交流しました。



## 10月29・30日



10月29日から30日まで大阪に行き、薛剣大阪総領事(大使級)とお会いしました。現在と未来の日中関係について2時間余り

にわたり内容豊富な意見交換をする事ができました。「日中両国は何でも話し合える諍友の間柄になるべき」とのお話が印象的でした。

## 11月4日

当協会が新体制で発足後、初の試みとして著名な作家、ジャーナリストである莫邦富先生のお力をお借りし、10人前後の小規模中国勉強会を開催しました。小規模と言いながら蓋を開けると22名もの人が参加されて、大いに盛り上がりました。日本人と中国人がほぼ半数、うち3分の1が若い女性でした。この会は日中協会・木曜会と名付けて奇数月の第一木曜日に開催することになりました。

## 11月8日



「三友篆刻書画展」(当協会後援)が中国文化センターで開催されました。韓孝伯さん、丹羽常見さん、小坂克子さんという、共通の師匠の下で篆刻を学ぶ3人が、三者三様の作品を展示。師匠の和の中簡堂氏も目を細める程、素晴らしい出来ばえでした。

## 11月16日

第9回日中韓児童友好絵画展(当協会後援)の東京展が中国文化センターで開幕しました。本展は2003年の日中友好児童絵画展から始まり、2013年からは上海市人民対外友好協会の呼びかけで韓国が加わりました。日本側主催者である社会教育団体ベルポ会の鶴ゆかり理事長が開幕の挨拶をしました。



## 11月20日

東京高輪区民会館で日中国交正常化50周年を記念した二胡、揚琴、馬頭琴のアンサンブルによるコンサートが開催され、日中協会を代表して瀬野理事長が来賓挨拶をしました。



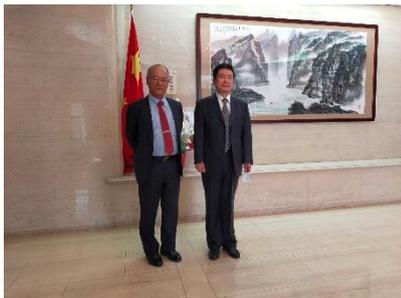
## 11月25日

11月25日、長崎で張大興総領事を訪ねました。張総領事はご出身が重慶。坂の街長崎とは、中国文化のみならず重慶とも共通点が多く、異郷にいる感じがしないとして、語らいが弾みました。



## 11月26日

福岡で、旧知の律桂軍総領事を訪ねました。多くの日本人が懸念している香港や新疆ウイグル自治区の状況についての率直な質問に対して、律総領事は懇切丁寧に説明され、1時間があっという間に過ぎました。



## 11月27日

九州日中文化協会（張晶会長）が主催する「日中子ども書画展」が博多のホテルで開催されました。これは1998年から毎年開催され、回を重ねて今年で第24回。日中両国から応募した1万点を超える書画の中から厳選された作品のレベルは高く、初めて外務大臣賞も授与されました。当協会も後援団体として「日中協会賞」を授与しました。



## 11月29日

中国文化センターで「北京2022冬季オリ・パラハウス」の開幕式が行なわれ、瀬野理事長、藤田事務局長が出席しました。孔鉉佑大使から「野田会長にくれぐれもよろしく」との伝言を頂きました。



## 11月30日

スカイツリー下のソラマチ広場で浙江省文化と観光庁が主催する浙江省観光PRイベントが開かれました。民族楽器の演奏や舞踊、独唱、著名な書道家による書法の実演などが行われ、VR映像では浙江省の街と自然を堪能できました。浙江省を含む、長江デルタ地域のGDPが英、仏を超過してドイツに迫っていることはあまり知られていないようです。



## 会員紹介：日比谷クリニック

当院は1960年、東京日比谷の地に外国人中心の内科のクリニックとして開院したのが日比谷クリニックの始まりです。この地域の特性で当院には自然と国際色豊かな海外の方が来院され、その対応の中で海外に戻られる場合や、日本の方が海外に行く場合に備え、天然痘やコレラなど多くの感染症対策の必要に迫られていきました。当時はまだ世界に「トラベルクリニック」という概念さえない時代です。

一つ一つ渡航先の国の情報や、あらゆる渡航先の問題点を洗い出し、問題解決の糸口を探る日々が続きました。予防接種の種類や英文診断書の形式など各国に合わせ、悩みながら事例を積み重ねてきた結果、徐々に今ある形に進化してまいりました。

「海外へ安心して渡航したい」と願う人たちと共に創り始め、時間をかけて誕生した安心の医療サービス、それがトラベルクリニックなのです。



当院が大切にしていることは、日本の企業や人々が海外へ渡航したいと考えている国へ、安心して渡航をしたいというニーズを満たすために多くの問題を丁寧かつ正確に解決していかなければならないということです。その要望に応えるためには、それぞれの国々の情報をくまなく収集し、対応できる国を一つでも多く増やすことが不可欠な要素となります。

### 世界を安心でつなぐ。



時には前例のない案件を前にして、悩みながら必死に答えを探すこともあります。海外赴任者や留学をされる方、海外赴任の人事担当者の方々と会いお話しをする場合でも、常に新しい情報にアンテナを張り巡らせ、いかにニーズのあったソリューションを提供できるか考えながら組み立てております。

今後も多様化し続ける海外渡航に柔軟に対応し、渡航者の方々へより良きサービスを愛情をもって提供していく。これが我々のミッションです。

HP：<https://hibiya-clinic.com/>

### 会員の声

#### ☆会員の方から励ましのお手紙を頂戴しました！

「事務局だより」の発刊おめでとうございます。新事務局の皆様によって素敵な事務局便りを手にし思わず嬉しくなりました。日中協会もすでに46年。本当に長いこと会員として今日まで至りました。感無量です。創設者の岡崎嘉平太先生もきっとあの世で喜んでおられることと思います。とても新鮮なさわやかな思いで拝見しました。事務局の皆様のご努力に敬意を表します。どうぞこれからもさわやかな「事務局だより」楽しみに致しております。（上野しげ子様）

## Z世代は 中国人を解き明かす キーワード?

レイレイの中国トレンド@youtube



皆さんもお気づきかもしれませんが、中国人の会話の中でよく世代の話題が出てきますよね。60後、70後、80後、85後、90後、95後、00後などなど。

「我々80後が一番辛いわ〜」とか、「僕は95後だから00後のことよく分からない!」とか、「00後だけど、それがどうした?」とか、中国人同士もこのようにお互い世代でラベリングして、会話したりしますね。

アメリカで生まれたZ世代という概念は、中国では95後もしくは00後ということになるのではないのでしょうか。そこまで細かく分ける必要があるのか、首をかしげる方がいらっしゃるかもしれませんが、中国の消費者研究では、中国人の消費行動を年代別で分けています。1980年代は「必需品消費」志向、1992年からは「改善型消費」志向、2002年からは「消費拡大」志向、2013年からは「ブランド消費」志向と言われています。2019年で1人当たりGDPが1万ドルを超えると、今度は「個性化消費」志向と言われています。そう、中国は変化が早い!研究では10年単位で分けていますが、体感としては5年でもずいぶん世の中が変わってしまいま

すよね。実際問題、数年ごとにジェネレーションギャップが生まれてしまい、中国人同士でもこの世代差に気をつけて会話しないと噛み合わないことがいっぱい出てくるんです。

例えば、80後の私にとって、中国の伝統衣装というと、旗袍(チャイナドレス)のイメージでした。小さい時にチャイナドレスを着こなす大人の女性を見ると、すごく優雅で特別感があって、憧れたりもしました。しかし今の00後にとって、中国の伝統衣装というとむしろ漢服のイメージになっているんです!ここ数年ぐらいで、漢服がコスプレから普段着に発展し、高級漢服ブランドもどんどん現れ、今年2021年には100億元(1800億円弱、11月末時点レ

ート)の売上になると予想されています!そう、その漢服が今中国若者の「国潮」トレンドの一つになっているのです!

で、「国潮」って何?実は中国人にとっても新しい言葉ですが、ここ2、3年、「国潮」とか「国風」とかを見ない日がないぐらい、中国若者消費文化のトレンドキーワードになっていますよね。要するに、中国伝統文化・中国風の要素が入っているコンテンツや商品、国産老舗ブランドや新しい国産ブランドに対する関心が高まり、そういったコンテンツと商品が人気を博しているということではないでしょうか。

11月に中国社会科学院が発表した「2021中国電子商取引年次報告」によると、95後の若者による中国老舗商品の購入が前年比3倍にもなっていて、60後70後の親世代よりは遥かに多いとのこと。そして今年の「国潮」商品の売上ランキングでは漢方スキンケア用品、博物館グッズ、漢服、スポーツウェア、古箏がトップ5位の 카테고리 になっています。こうやって見ると、中国伝統文化・中国要素があれば何でも良いかなと思われるかもしれませんが、実際、なぜ国産商品を買うのかという質問を00後の若者に投げかけてみたところ、意外にも、皆から値段とクォリティという答えが返ってきました。

越境Eコマースや海外旅行が中国の若者の間でも普通になってきて、みんな海外ブランドは以前より手に入り易くなっている中で、海外ブランドも良いけど値段の割には品質がそうでもない海外ブランドもあったりするという。そうすると、今の若者にとって、海外ブランドというだけで飛びつくような盲目的な海外志向がなくなり、値段がリーズナブルで質もちゃんとしている国産商品も多くなってきていることが消費につながっているようなのです。

なので、「国潮」ブームについては単なる自国文化への関心の高まりだけではなく、国産の選択肢があまりなかった時代から、良質の国産ブランドの選択肢が豊富にある時代になってきたという背景があるのではないのでしょうか。

ブームであれば、いずれブームは去る時が来ると言われます。この国潮ブームはまだまだ盛り上がるのか、中国要素もいずれは飽きられるのか、コロナ終焉後海外に自由に行き来できるようになった後、このブームに何か変化が出るのか、これからも注目していきたいですね。  
(著者：レイレイ)

### シリーズ・お宝解説(全3回)

## 〈中国ではまだまだ続く切手収集ブーム〉 投稿：高野元良(会員)

日本では、切手収集ブームは1960年～80年代がピークでした。今では、そのブームは去り、すっかり熱も冷めてしまいました。

一方、中国では2000年ぐらいから経済的に豊かになってきたこともあって、切手の収集がブームとなり、現在もブームは続いています。これにともない切手の価格は上昇し、ここ1～2年は下落傾向にあるものの、2000年当時と比較して高額となっています。

特に、1950年～70年代の切手は人気が集中し、中でも「文革切手」と呼ばれる、毛沢東をモチーフとした切手のシリーズは人気が高いです。

1966年に始まった文革時代においては、切手収集は米国文化の象徴とされ、中国国内での切手収集が禁止されました。その結果、中国国内のコレクターが収集していた膨大な数の切手の多くは廃棄・焼却され、収集切手の数は大きく減りました。

当時は中国と国交を断っていた国が多く外国への郵便が少なかった反面、一部の東欧諸国や日本は非公式な経済交流があったため、それらの国々には当時の中国切手が多く残っています。

会員の皆様の中には、当時の中国切手をお持ちの方がいらっしゃるかと思います。

この機会にご自身がお持ちの中国切手の価値を確認されることをお勧めします。鑑定をご希望の方は事務局にて対応致しますので、お気軽にお申し出下さい。

#### 〈切手の価値の5つの判断基準〉

- ① 未使用であるかどうか
- ② バラかシートかどうか
- ③ シリーズが揃っているかどうか
- ④ 保存状態がいいかどうか
- ⑤ 稀少性があるかどうか

☆ 次回は「掛け軸」です。

